

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし

城下町を疾走 (2月14日 高梁市街地)

「第31回愛らぶ高梁ふれあいマラソン」が開催されました。

城下町コース(8km)、愛らぶコース(5km)、ふれあいコース(3km)に、市民ランナーや親子連れなど、市内外から942人が出場。町並みを走るランナーに沿道から温かい声援が送られました。



特色を生かしたまちづくりを (2月14日 成羽総合福祉センター)

本市の名誉市民で社会福祉法人旭川荘名誉理事長の江草安彦さんを招いて、「まちづくり講演会」(備北商工会主催)が開かれました。

「新しい時代へ 今始まる“創造”のまち 高梁」と題し、旭川荘が川上町の医師不足に応じて診療所等を引き受けた経緯などを交え、地域医療・福祉のあり方について講演。また、不利な条件を生かした新たな取り組みへのヒントなどについても語りました。

100歳おめでとうございます

2月8日から3月5日の間に100歳(明治43年生まれ)の誕生日を迎えられた5人の皆さんを、市職員らが訪問し記念品や花束を贈って長寿を祝いました。

市内で100歳以上の人は3月5日現在で34人(男性9人、女性25人)。



岡田アサ子さん
(下谷町)



妹尾イトさん
(宇治町宇治)



妹尾兪さん
(川上町仁賀)



玉岩仙助さん
(松山)



前岡春子さん
(巨瀬町)



方谷先生の思いを生かしたまちづくりを (2月13日 文化交流館)

幕末の備中松山藩で藩政改革を成し遂げた山田方谷(1805～1877)の生誕205年を記念し「山田方谷先生生誕205周年記念フォーラム～雲中の飛龍・方谷先生の思いをかたちに～」(同実行委員会・高梁市文化協会主催)が開かれました。

方谷に関する著書がある愛媛県在住の前衆議院議員・小野晋也さんが基調講演。また、小野さんをコーディネーターに4人のパネリストによるシンポジウムもあり、方谷の思想をまちづくりに生かしていこうと、約200人の来場者が活発な意見を交しました。

1年間の練習の集大成を披露 (2月28日 成羽文化センター・神楽館)

「子供神楽発表会」(成羽備中神楽振興会主催)が行われ、小学生から高校生までの3団体41人が、「猿田彦命」「吉備津舞」など11演目を熱演しました。子どもたちは、1年間の練習の成果を披露し、見守った家族らが温かい声援を送っていました。

また、会場となった「神楽館」は、今年度から全館に畳が敷かれ、後方には新たに神楽面や神楽衣装の展示スペースが設けられるなど、設備を一新。訪れた神楽ファンらの注目を浴びていました。



明るく元気な地域づくりを目指して (3月7日 備中やすらぎの里センターハウス)

「備中地域まちづくり推進大会」(備中地域まちづくり協議会主催)が開かれ、高梁・有漢・成羽・川上・備中地域の元気な地域づくりに取り組むグループが、それぞれの活動について発表しました。

歌や寸劇を交えたユニークな発表のほか、質問や提案などまちづくりについての真剣な意見交換や交流も行われました。

うかん生涯学習推進大会、文化祭 (2月7日 有漢生涯学習センター)

「平成21年度高梁市うかん生涯学習推進大会・文化祭」(同実行委員会主催)が行われました。

生涯学習推進大会では、水戸黄門のうっかり八兵衛でおなじみの俳優・高橋元太郎さんが「他力本願一出会い、ふれあい、支え合い」と題して講演し、ユーモアのある話術で会場を沸かせました。

文化祭は、「芸能発表の部」と「展示の部」があり、「芸能発表の部」には文化協会から10団体が出演し、かさ踊り、太極拳などを披露しました。

